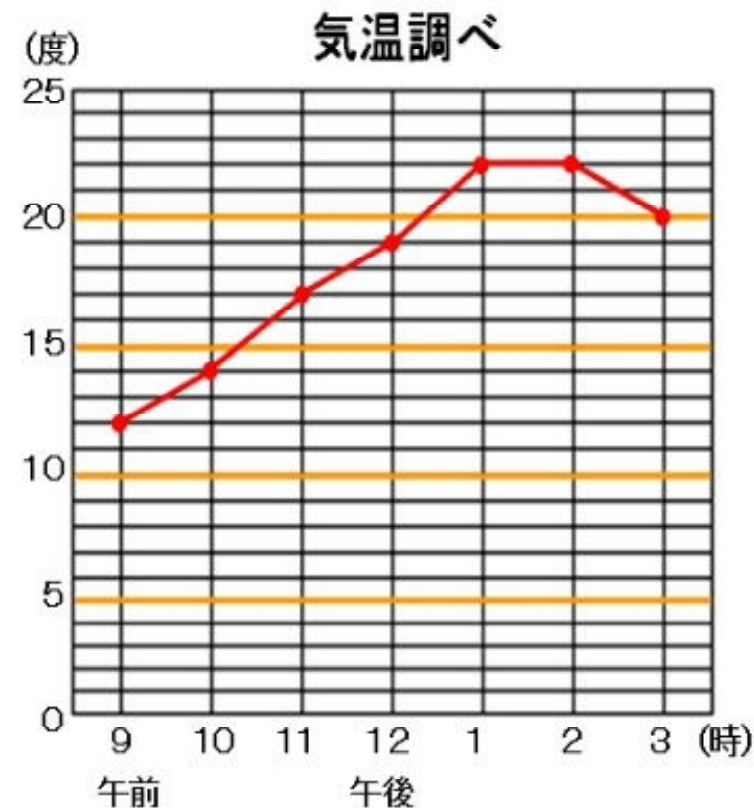


折れ線グラフのよみ方

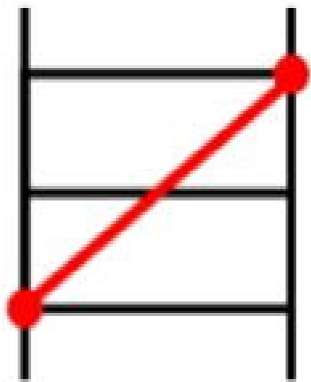
折れ線グラフは、時間とともにかわっていくもののようすを表すときに使います。気温がかわっていくようすを表した折れ線グラフをみてみましょう。

- たてのじくは気温を表しています。
1 めもりは1度です。
- 横のじくは時間を表しています。
- 午前11時の気温は17℃です。
- 午前9時から午後1時までは気温が上がっています。
- 午後2時から3時までは気温が2度下がっています。
- 午後1時から2時までは気温がかわりません。

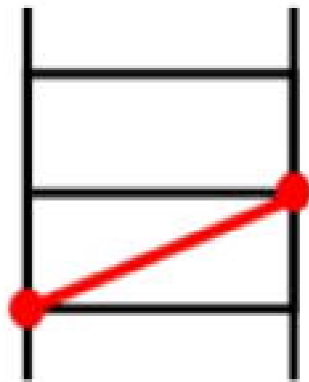


折れ線グラフのかたむき

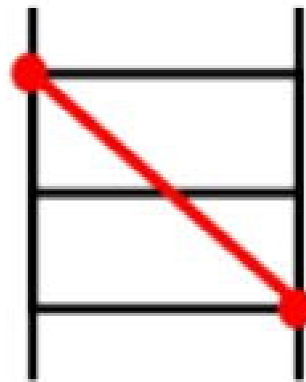
折れ線グラフでは、線のかたむきが急なほど、かわり方が大きいことを表しています。



上がり方が
大きい



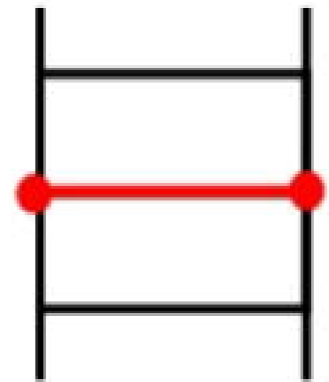
上がり方が
小さい



下がり方が
大きい



下がり方が
小さい



かわらない

折れ線グラフのかき方

下の表をグラフにしてみましょう。

時こく (時)	9	10	11	12	1	2	3
気温 (度)	12	14	17	19	22	22	20



① たてのじくに気温をとり，めもりをつけます。

② 横のじくに時こくを書きます。横のじくには，変化が一定のもの，たてじくには横じくに^{へんか}したがって変化する数をとります。

③ 時こくごとに温度を表す点を書き，これらの点をじゅんに直線でつなぎます。

④ 表題をわすれずに書きます。

